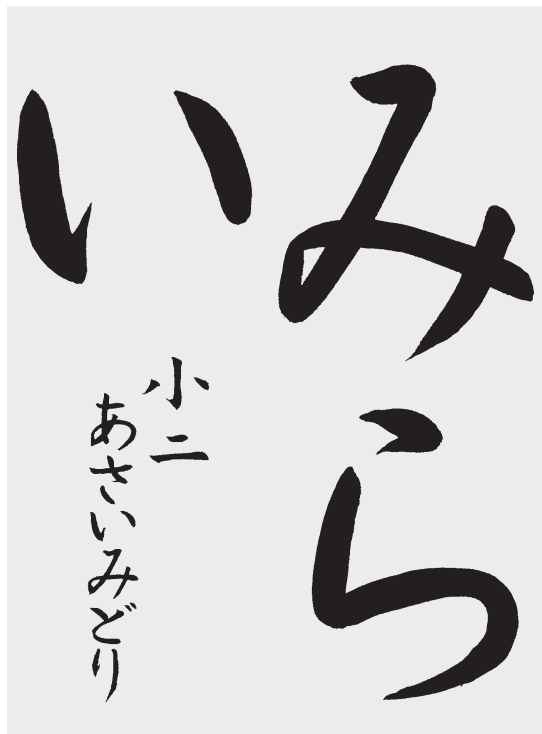


〔6月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

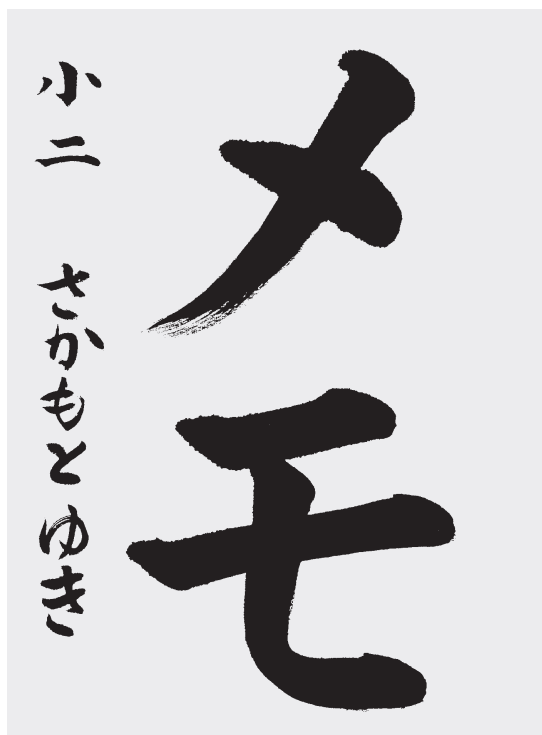


下谷洋子先生

幼・小学1年参考手本



加藤眺溪先生



武山櫻子先生



佐藤菜扇先生

〔6月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



崎井恵風先生

小学3年参考手本



三浦鄭街先生



後藤大峰先生



恒次鶴城先生

〔6月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



板垣洞仙先生

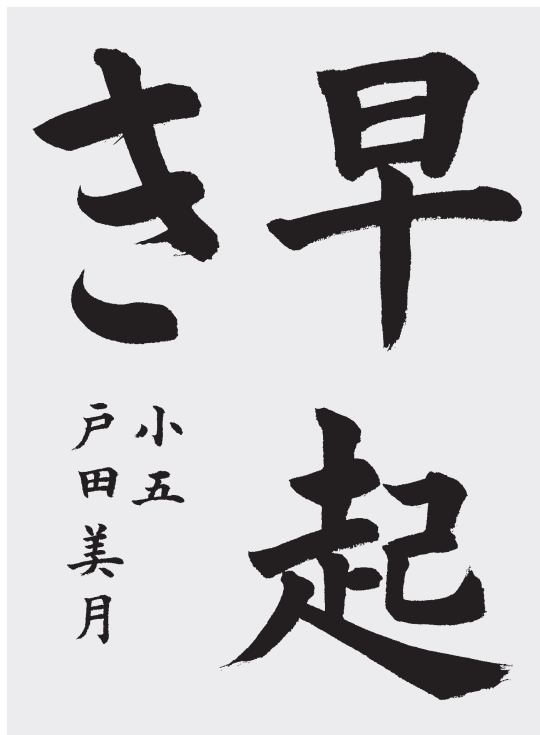
小学5年参考手本



半田藤扇先生



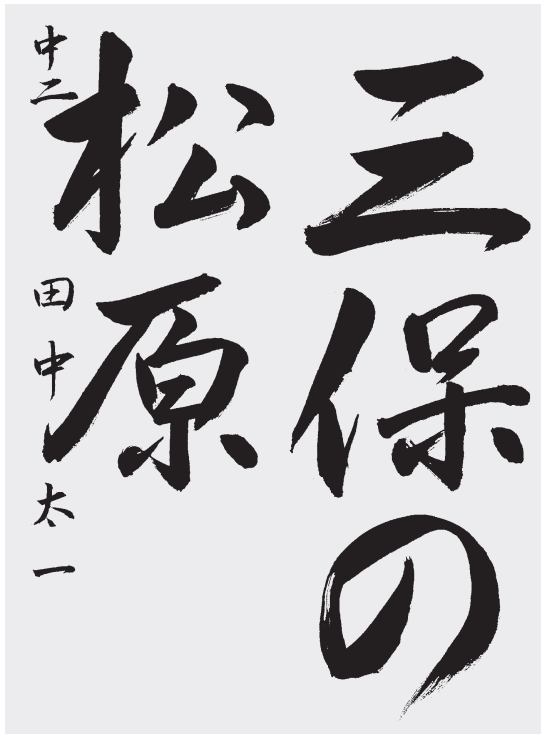
小竹石雲先生



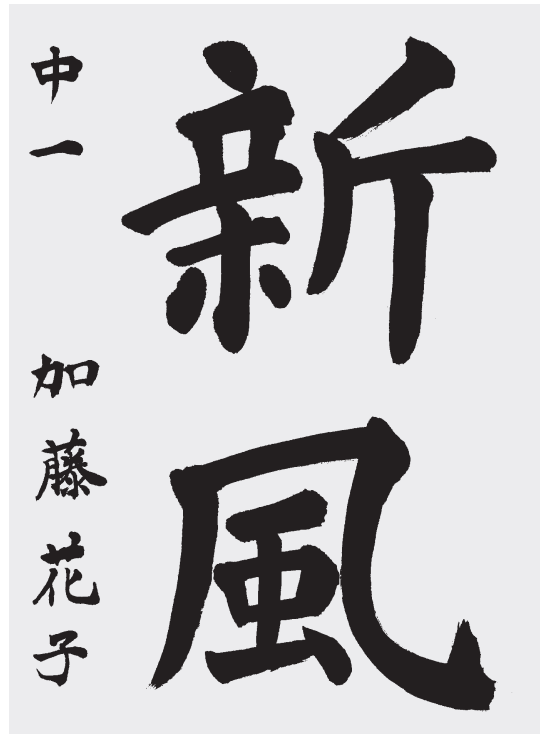
名越蒼竹先生

〔6月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

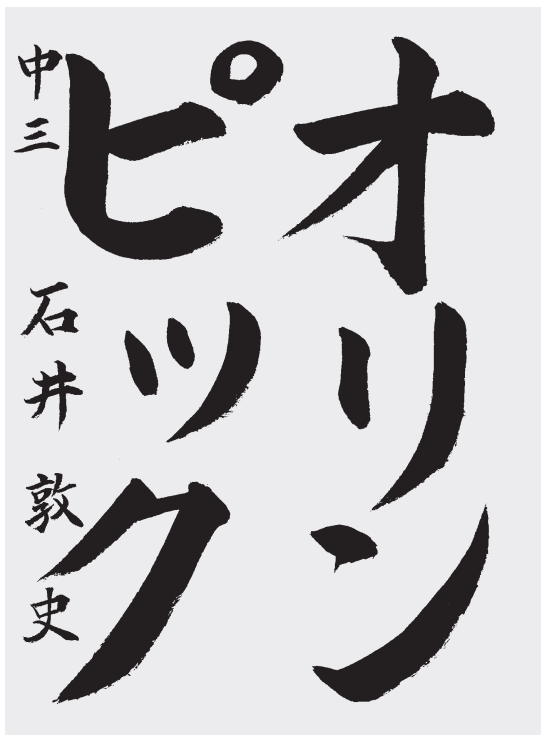
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



広瀬舟雲先生



辻元大雲先生



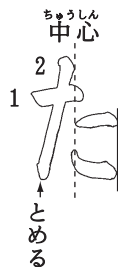
山口仙草先生



千葉蒼玄先生

毛筆参考手本解説(1)

1年

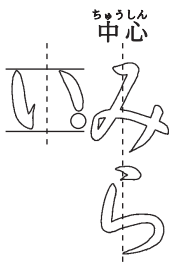


〈ひつじゅん〉
一 た た た
〈じげん〉
太 た た た



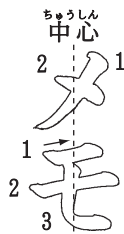
あける はらう
〈ひつじゅん〉
フ カ カ
一 わ

2年



〈ひつじゅん〉
み み

義々みみ良々ら
以々い



〈じげん〉

ノメーニ毛



※カタカナの字源は漢字の点画を省略したもの

3年



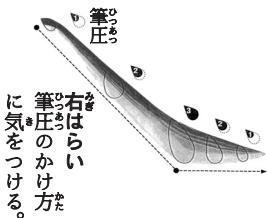
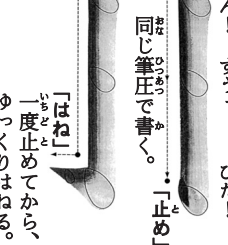
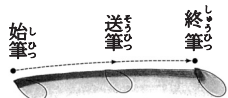
〈ひつじゅん〉

一 丁 干 王 玉



〈ひつじゅん〉

一 十 才 木
一 十 立 立



〈許容〉
方
〈字源〉
呂 万

〈許容〉
はなす
止め
己の 止め

己の 止め

4年

学校

〈筆順〉

一 十 才 木 杵 杵 校

〈許容〉

木 はね 止め
方向

マロ字

〈筆順〉

一 十 才 木
→長音記号
カタカナで音を
のばすときに使う

5年

友愛

〈筆順〉

一 十 才 木 友 愛

〈許容〉

友 はなす 友 接する

早起

〈筆順〉

一 十 才 木 日 旦 早
土 走 走 起 起

己の上部は
余白ができるように

毛筆参考手本解説(2)

6年

中学

労働

〈筆順〉

、 〰 〰 〰 学 労
イ 信 俸 働 働 働

〈許容〉

動 はなす

少し内側にむける

中心
若葉

四画目は長く上にそらす

〈筆順〉

一 サ サ 若
二 平 平 葉 葉

〈許容〉

止め はね
止め はね

新風

〈筆順〉

エ ャ 立 糸 新 新
ノ 凡 凡 風 風

少しあげる

〈許容〉

方向
風 凡

宣人 言権

やさしい行書

〈許容〉

木 はね 権
方向

方向
言 日 言

はなす

三保の 松原

(糸へん)

右払いが点に変化

三 点画の連続

保 左払いが点に変化

点画の省略

点画の連続

横画から左払い

ク ツ ヒ ン リ オ ピ オ ツ ク シ

半濁点
下から時計まわり

カタカナの字源

ク	ツ	ヒ	ン	リ	オ	
久ク	川ツ	比ヒ	ン	利リ	於オ	源字 字形
ク	ツ	ヒ	ン 撥音符号から	リ	オ	

〔6月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学2年

幼・小学1年

硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

支 部 名		と		き	
		て		よ	
段・級		も		う	
		き		は	
学 年		れ			
	二	い			
名 前		で		青	
	山	す		空	
	本	。		が	
	さ				
	く				
	や				

支 部 名		ガ		あ	
		い		り	
だん・きゅう		ま		が	
		し		と	
がくねん		た		う	
	一	。		ー	
なまえ)	
	た				
	な				
	べ				
	り				
	ん				
	か				

「青空」
「空」の字形をただしく書きましょう。
中心
1 1
2 2
穴(あなかんむり) 十 工
ひつじゅんにちゅうい

「ありがとう」
「とめ」「はね」「はらい」をただしくかきましょう。
中心
1 1
2 2
つじけるきもちでかく
のびやかにほらう

〔6月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年

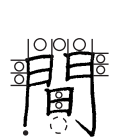
小学 3 年

支 部 名			
段・級			
学 年	四		
名 前	夕部真平	に う つ つ て い ま す	こ ん だ 日 光 が 庭 の 池
			わ か 葉 の 間 か ら 差 し

支 部 名			
段・級			
学 年	三		
名 前	上地心夏	の 行 列 を 見 ま し た	庭 の す み で あ り

中心


差
〈筆順〉
ソムヤ並差差差


間

間
〈筆順〉
たてと横の分間をととのえて
1 月 門 門 間


中心

葉
四画目が一番長い
〈筆順〉
ハハハハ葉葉葉

筆順に気をつけて、字形を整えましょう。


列
「へん」が大きい
「行」も「列」も
「へん」と「つくり」のつり
あいに気をつけましょう。


行
「つくり」が大きい


庭
〈ひつじゅん〉
広 戸 庭 庭 庭
「ありの行列」
とくに「庭」の字形を正しく書きましょう。
画の長さと「はらい」の方向に
注意。

〔6月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

支部名	京	の	ッ
	2	夢	今
段・級	0	の	、
	2	力	ニ
学年	0	が	ツ
名前	小田切学	が必要だ	ポンにはこ
		い。東	

支部名	て	る	
	発言	と、	友
段・級	しました	、	達
	た。	元	は
学年		気	、
名前	川北あかり	に	授
		手	業
		を	が
		挙	始
		げ	ま

要

西にしな

〈筆順〉

ㄣ 西 要 要 要

〈許容〉 女 出ない

最終画は最大幅で上にそらす

必

〈筆順〉

、ソ 必 必

夢

〈筆順〉

ㄣ ㄣ ㄣ 夢 夢 夢

ㄣを最大幅に 〈許容〉

点 払い

「夢の力」漢字よりひらがなを少し小さく書きましょう。

中心 挙

少しそる

中心 業

入る角度に注意

〈筆順〉

〃 〃 〃 業

授

〈筆順〉

一 一 一 授 授

「友達」筆順にしたがって正しく整えて書きましょう。

〔6月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生（行書）

中学生（楷書）

※書写用具は、えんぴつ、フェルトペン、ボールペン。筆ペンは不可。

支部名	
段・級	
学年	中三
名前	西真里子

メダルの素材はすべて回収し
た不要な携帯電話や小型家電。ま
さに都市鉱山からの産物だ。

支部名	
段・級	
学年	中三
名前	西真里子

メダルの素材はすべて回収し
た不要な携帯電話や小型家電。ま
さに都市鉱山からの産物だ。

『メダル』
漢字を整えて、字配り良く書きましよう。
(漢字はひらがなより少し大きく書く)

折れてから内側に向かう

携
 携 (筆順)
 携 (許容)
 携 (方向)

帯
 帯 (筆順)
 帯 (許容)
 帯 (止め)

家
 家 (筆順)
 家 (許容)
 家 (方向)

・行書のワンポイントアドバイス

行書は楷書のように、点や画を一つ一つ作るのとは違い、かなり自由で流れのある筆使いの中から点画が形成されます。

電 電
 産 産

これからの作品締切日と課題

令和2年7月号～12月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
星に願 いを	聖火	祭典	新記録	元気	体力	のぞみ	あ	7月8日	7月
<small>より速く より高く より強く</small>	活躍の場	一直線	ランナー	金メダル	友だち	はやい	いま		
次代を 担う	自在	記念の日	開始	実行	ペン	こおり	そ	8月10日	8月
<small>荒海や佐 渡に横た ふ天の川</small>	国際交流	マラソン	歴史	意味	目あて	へちま	もの		
夕映え の富士	名月	正倉院	出席	林道	竹やぶ	ひろば	る	9月7日	9月
いでし つきかも	清少納言	集中力	飛ぶ	外国	秋	ねがい	つき		
広がる 世界	紅葉	責任感	願い	町村	見方	もみじ	え	10月7日	10月
<small>柿くえば鐘 かなるなり 法隆寺</small>	源氏物語	達人の技	夕焼け	時計	虫かご	月	よむ		
古都奈良	答案	筆の里	風景	成功	月光	えがお	は	11月9日	11月
<small>この道や行く 人なしに秋の 暮れ</small>	自然科学	立派な人	連合	家族	大切	ダム	すみ		
見聞を 広める	天守閣	飼育係	星ふる夜	仲間	広がり	つばさ	き	12月6日	12月
ころも うつつなり	飛行機雲	喜びの声	成り立ち	わさび	安全	かもめ	ふゆ		

7月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

に	たい
いき	いく
ました	かん
た。	

小 2

ラ	オリ
リン	ピック
ピック	ク・パ

小 3

ム	自分
を	の
め	ベ
ぎ	ス
そう。	ト
	タイ

小 4

そ	ん	夏
れ	な	休
で	で	み
は	遊	に
お	び	は
元	に	、
気	行	家
で	き	族
	ます	み
	す。	

小 5

を	う	「
書	内	わ
い	容	た
て	で	し
み	、	と
よ	自	友
う	分	達
	の	と
	体	い
	験	

小 6

て	は	文
ま	、	章
と	筆	を
め	者	要
る	の	約
こ	意	す
と	図	る
が	に	場
大	沿	合
切	っ	

中学生

国	世界
は	中
ど	の
こ	最
だ	高
	の
	ア
	ス
	リ
	ー
	ト
	が
	集

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第39回 新型コロナウイルス流行による臨時休校の影響

新型コロナウイルス感染症は、世界中に感染拡大し私たちの生活に多大な影響を及ぼしています。わが国でも安倍首相が三月二日から春休みまで全国の小中高等学校の臨時一斉休校を要請したことにより、子どもたちは最初歓声をあげていましたが、公共図書館や施設等も一斉休館となり家で過ごすのには飽きてきました。書道界では三月の相次ぐ展覧会中止の報に続き、四月からの学校再開が待たれたのですが、さらに感染者数が増え、この原稿執筆時点で、東京では多くの学校が、五月の連休明けまで再開が延期されました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会延期決定。聖火が全国を巡るコース発表の中で、わが市街を通ることが分かり、この機会がチャンスとばかり聖火リレーの応援と市の文化芸術面を盛り立てて行こうと企画したフェスティバルが同時に流れてしまいました。中止ではなく延期となったことが救いです。

さて、所在地東京の本学（大学）の場合、最初は四月二十九日までいわゆる普通の対面授業自粛（事実上は禁止）でしたので、四月末までの授業三回分の課題等を学生たちにメールで発信し、四月末に学生たちが登校してから回収すればいいと考えていました。ところが、度重なる感染者増の発表により、急遽五月末まで、この自粛が延長されることとなり、四月中旬に教員と学生は自宅でのネット環境を整えて、五月からは、「ICTを用いて、各教員の自宅からネットですべてそれぞれ自宅等にいる各学生たちに、できれば双方向発信する授業（いわゆるテレビ会議のようなものでWeb会議用ソフトZoom（ズーム）などがある）を展開したい」というメールが届きました。得意な先生に何回か直接教われれば何とかなると思いましたが、次のメー

ルが届き愕然としました。「感染症防止のため四月一日より、大学キャンパスへの出入りは学生・教員ともに自粛」（緊急事態宣言）発令により八日から立入禁止。これでは、操作が判らなかつた場合すぐに助けてもらうことができません。理系などパソコンに強い教員の方々は、もうすでに用いておられるとのことですが、私を含めた文系教員は、正直言って「手書きが大切。直接対面で教えるのが当たり前」と考え、なるべくならう用いたくないと思っていた方です。ほとんど経験ゼロでした。このような指示が出ることも想定されていたのか分かりませんが、幸いにも三月中旬に希望教員のみでZoomを体験できる機会があり、40分ほど初めて体験し教員が教員になりました。この体験では、六人の顔がパソコンの画面に六枚の写真を張り付けられたように配置され、それぞれの顔が映し出されてきました。まさに実況中継でありそれぞれの声が聞こえてとても面白いと思いました。その画面上にコメントも記せ、録画機能もあるとのことでした。これでしたら全国的な組織の役員会のような会議でも各自のネット環境を整えば、交通費を掛けずに自宅等でパソコンの画面を見ながら会議に出席し参加できるという最大の利点があります。小人数はもちろんのこと、使いこなせば百人以上の人々ともコミュニケーションができるそうです。進んだ企業では、在宅でのテレワークが広がり、ニュースで時々、その様子が放送されます。私はICT活用を避けてきた一人ですが、他人事ではなくなってしまいました。世界的な感染症拡大は、今後起こりうるリスクと考え、乗り越えるためにもZoomなどの機能を生かした新しい書写書道の教授法開発も急務となりました。

（つづく）

今月のホープ



中三 浅羽七海 (雲母支部)

丁寧な筆使いで充実、安定した作品です。はね、はらいなどしっかりバランスよく書けています。



小四 木村夏綺 (春竹支部)

太い線で堂々と書ききっているのに、驚きました。筆使いも見事で、たのしく今後大きく期待します。

支部名	飛山分室	段・級	六	氏名	鳥海咲希
支部名	飛山分室	段・級	六	氏名	鳥海咲希
内容	説得力のある提案を	する	ため	に、	発表の準
内容	備を	しま	す。		

小六 鳥海咲希 (飛山支部)

一点一画に気持ちを込めて書いています。全体的なバランスが抜群に良く、硬筆の中で一番目に留まった作品です。

支部名	ニ	名	ダウイットでな
支部名	ニ	名	ダウイットでな
内容	しょうぼうくんれ	んを見学	します。

小二 ダウイット 寧菜 (竹の子支部)

一字ずつゆっくり丁寧に、マスいっぱいにかきました。子どもらしく明るく元気な作品です。

幼・1年

あ
さとう たろう

いま
小一 さとうひさこ

2年

のぞみ
小ニ やちともみ

いはや
小ニ 山本花子

3年

体力
小三 小池尚人

ち友だ
小三 新山りこ

4年

元気
小四 佐藤太郎

金メダル
小四 石田咲良

5年

新記
小五 平田久代

ナラ
小五 山田真衣

6年

祭典
小六 見越克次

一直線
小六 山本綾

中学

聖火
中一 山崎大介

活躍の場
中一 奈良山香

星に願
中三 いを
山崎直也

より速く
より高く
より強く
中三 岡本三郎

編集余録

○新学期が始まりました。ご入学・ご進級おめでとうございます。4月7日の7都府県を対象とした緊急事態宣言を受け、小中学校の休校延長が相次ぎ心落ち着かない毎日だと思えます。

○事務所では春の昇段級試験の準備が始まりました。今回、コロナウイルスの影響で今までのようにお稽古が出来なかつたりしている方が多数いらっしゃるようです。一人でも多くの方に出品して頂きたいとおもいます。作品の締め切りは5月7日（木）です。よろしく願いました。

○東京オリンピック・パラリンピック大会が延期となりました。開催に関連した課題がこれから出てきます。来年の開催を期待して課題を書いてください。

○二月に全国学生書道展と一緒に開催された大人の展覧会（書道芸術院展）の上位作品を掲載いたしました。書道芸術院は、漢字・かな・現代詩文書・篆刻刻字・前衛書の5部門を擁する総合団体です。高校生以上の方が出品できます。将来、皆さんが書道芸術院展に出品してくれることを期待しています。

○三密（密閉・密集・密接）を避け、引き続き咳エチケットや手洗いなどの感染予防対策をしましょう。
（菜扇）